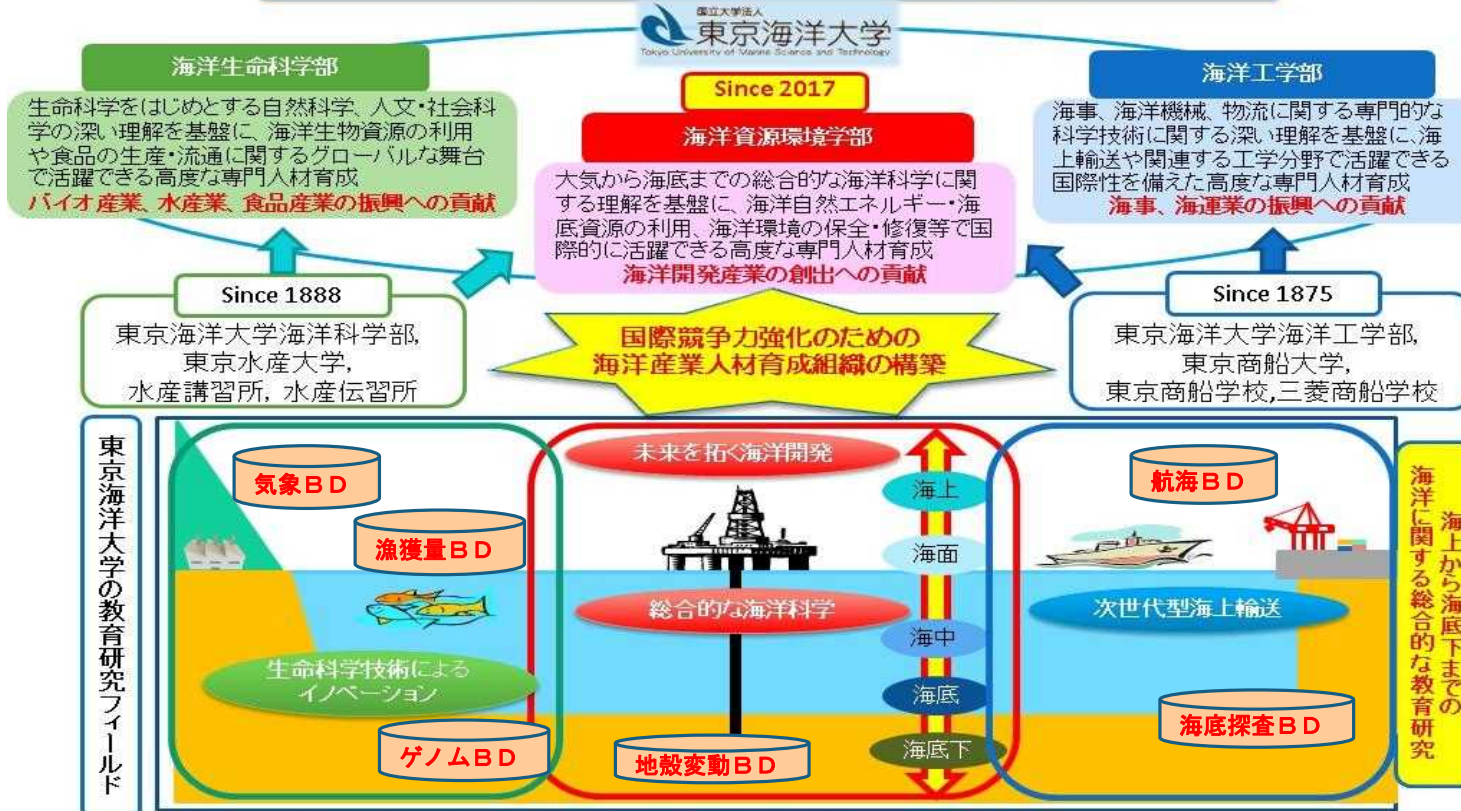


東京海洋大学 「海の総合大学」

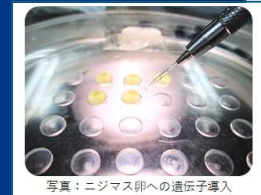
Since 2003.10

東京海洋大学における3つの人材育成の領域



(2020.10~) 水圏生殖工学研究所

次世代の魚など水圏の生き物の、保全や養殖を目的とした研究の実施



写真：ニジマス卵への遺伝子導入



写真：生殖細胞移植を施したマサバ

(2020~) 海洋産業A | プロフェッショナル育成卓越大学院プログラム

海洋に関するビッグデータ (BD) 解析等をリテラシーとして身につけた「海洋産業A | プロフェッショナル」を養成するとともに新たな産業の創成に貢献する、博士5年一貫の卓越した大学院人材育成プログラム

学生数(学部・大学院・専攻科・実習科・研究生等)

2,744人

(R3.5.1 現在)

教職員数

476人(教員250人、職員226人)

東京海洋大学におけるSDGsの取り組み

地球上の海洋ごみを可視化する

マイクロプラスチックを含む漂流ごみと海底ごみの分布調査

【調査のポイント】 マクロサイズとマイクロサイズのごみを並行して調査



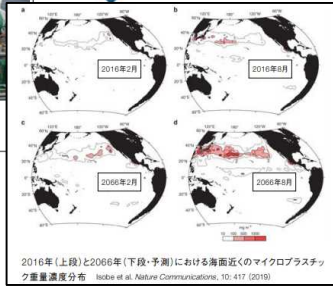
目視観測
マクロサイズの海洋漂遊ごみの目視観測

ニューストンネット
マイクロサイズの海洋漂遊ごみの採取

底びき網
海底ごみの採取



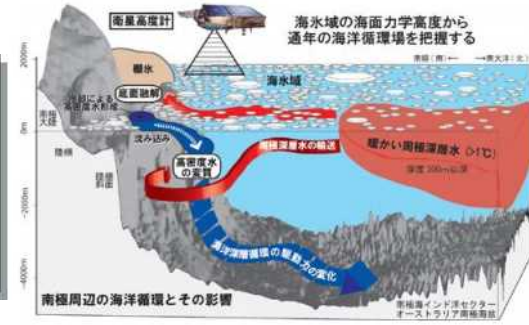
RESEARCH



2016年(上段)と2066年(下段・予測)における海面近くのマイクロプラスチック重量濃度分布
Nobe et al. Nature Communications, 10: 417 (2019)

深層大循環と気候変動の実態に迫る

南極地域観測事業



南極周辺の海洋循環とその影響
南極海インド洋センター
オーストラリア南極海研



RESEARCH

国立大学法人 東京海洋大学
Tokai University of Marine Science and Technology

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国立大学法人東京海洋大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

通商接船での航海
沙路丸

航海中の情報
大学内の通商接船

操船指示

バーチャル沙路丸

生体ナビゲーションシステム
遠隔操船システム

船舶の自動運航を目指して
自動運航船実現に関する研究



RESEARCH



RESEARCH

課題	プロジェクトの取組	目指す未来
養殖外産種による生態系破壊	● 地域原産種の“家魚化” (アジアスズキ・バナナエビ)	環境にやさしく利益の出る養殖産業の創出
養殖化による種の多様性の喪失	● 生殖細胞の保存技術 ● 遺伝子編集技術 ²⁾ の無脊椎動物への応用研究	野生種の多様な遺伝子を半永久的に保存
大規模感染症による養殖業への被害	● 効率的なワクチンの開発 ● 分子育種 ³⁾ による病気に強い品種の作出	効率的で安定的な大量養殖技術の確立
将来の世界的なたんぱく質の消費増	● 分子育種 ³⁾ 技術による効率的な品種改良 ● エビの性決定機構の解明と性制御技術の開発による成長の早い種エビのみの養殖	
健康志向による魚介類の消費増	● 栄養強化類による高付加価値な魚介類の養殖	世界市場での競争力アップ
研究成果の社会実装の遅さ	● ワクチン製造業者参画により、研究と製品化を同時に進行 ● 現地の養殖関連企業や政府当局の参加	短期間での製品化 養殖技術を短期間で現場へ伝達

安くおいしい安全な魚をタイ国から世界へ
タイ国原産魚介類の“家魚化”と養殖法の構築



詳しくは
2020統合報告書にて。
https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/president/post_188.html

東京海洋大学の練習船



南極へ
航海可能！

海鷹丸(うみたかまる) 1,886t 93m



神鷹丸(しんようまる) 986t 64.5m

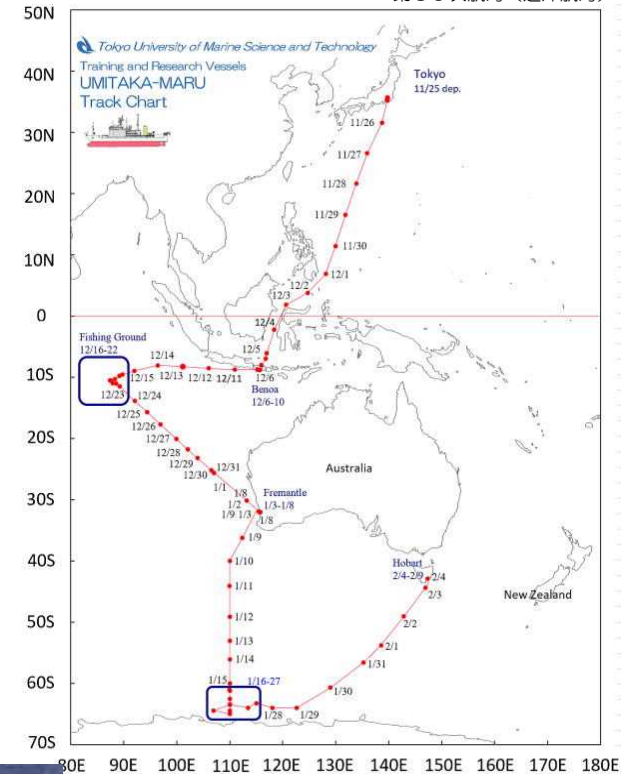


汐路丸(しおじまる) 425t 49.9m

⇒ 新船が竣工予定(700t級)

海鷹丸 航跡図

2019年11月25日(月)～
2020年3月2日(月)
第59次航海(遠洋航海)



その他にも
やよい 19t
ひよどり 19t

他の国立大学にない教育業務(船員養成)、研究業務(極域・海洋に関する受託研究・共同研究)、
管理業務(船舶の管理、船員の福利厚生)

DATAでみる東京海洋大学

国際交流協定校数

100機関

31か国・地域
と協定締結

(R2.5.1 現在)



日本人学生の
海外派遣者数
独自のプログラム
「海外探検隊」

120人/年
(R1年度実績)



留学生数
222人

(R2.5.1 現在)



共同研究
受入件数

174件/年

教員一人当たり
約**0.68**件
全国立大学中
9位

出典「産学連携等実施状況調査」R1 年度実績

OQEANOUS
(オケアヌス)
プロジェクト

日中韓の大学連携
による海洋分野の
国際的実践教育

←「大学の世界展開力強化事業
(平成28年度採
択)」の中間評
価において**S**評価

OQEANOUS(オケアヌス)プログラムで、海外留学を可能にする3つのポイント!

オケアヌスプログラムでの留学経験は、未来の貴重な財産となります。

- Point 1** 留学費用はほとんどが無料です。
トキオ海洋大学の奨学金、海外派遣者数増進プログラムが活用されます。
トキオ海洋大学の奨学金は、(R2.5.1現在)約100万円です。
- Point 2** 留学期間を自由に短期でも可能です。
1泊2日、1週間、1ヶ月、1学期、1年間のいずれも可能です。また、短期プログラムから長期まで、柔軟に選択することが可能です。
- Point 3** 英語だけでなく韓国語も学べます。
トキオ海洋大学(Ocean University)は、韓国語を学ぶことができます。
(注:1) 韓国語を学ぶには、別途韓国語の授業料がかかります。

新着情報

中国: 上海海洋大学 (Shanghai Ocean University) SOU
<http://www.shou.edu.cn/>

韓国: 韓国海洋大学 (Korea Maritime and Ocean University) KMU
<http://www.kmu.ac.kr/>

問い合わせ先

OQEANOUS プロジェクト
〒143-8501 東京都品川区東品川2-1-1
TEL: 03-3542-1111 FAX: 03-3542-1112 E-mail: oqe@kaiyodai.ac.jp

OQEANOUS <https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/oqeanus/>

OQEANOUS
Overseas Quality-assured Education in Asian Nations
for Ocean University Students

東京海洋大学 オケアヌス留学プログラム

アジアに広がる
新しい国際双方向教育
日中韓の大学連携による海洋分野の国際的実践教育

STP
ショート・ターム
プログラム

IJP
国際共同教育
プログラム

DDP
共同学位
プログラム

東京海洋大学



特許保有
件数

160件
国内121件
外国 39件

教員一人当たり
0.6件
全国立大学中
21位

出典「産学連携等実施状況調査」R1年度実績

「海の総合大学」 で働いてみませんか？

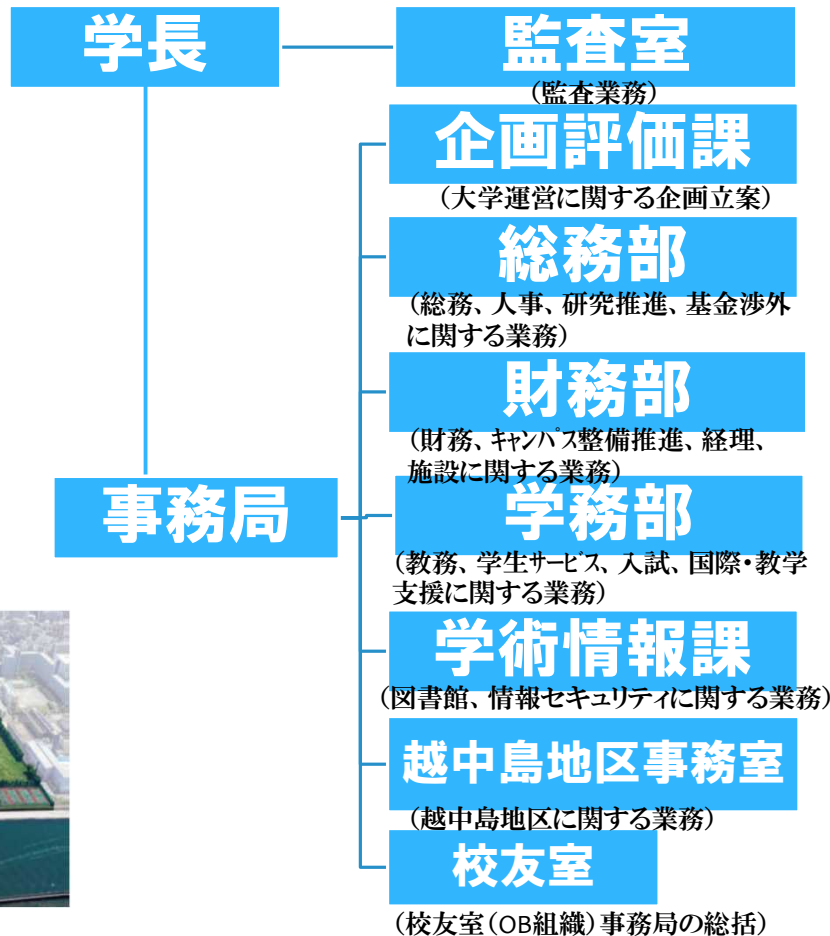


品川キャンパス



国立大学法人
東京海洋大学長
井関 俊夫

【東京海洋大学の事務組織】



越中島キャンパス

<給与・勤務条件・福利厚生>

月給：初任給 218,640円

(大学卒業。地域手当20%を含む。学歴・職歴により決定)

諸手当：賞与(月給の年間4.45月分)

通勤手当、住居手当、扶養手当等

勤務時間：原則8:30-17:15

休日：土・日・祝日・年末年始

休暇：年次有給休暇

特別休暇(リフレッシュ休暇、夏季一斉休業・結婚出産等)

※休業制度(育児、介護等)、

時差出勤、在宅勤務制度あり。

職員採用第二次試験（事務）

- 採用予定人数 事務 2名
- 採用予定時期 令和4年4月1日
(既卒者の場合は、令和3年度途中の採用あり)
- 試験内容（予定）
適性検査及び面接
面接は、人事担当・部課長級・役員級による2～3次の実施

第一次試験合格者宛に、募集メールを10月初旬までに発出
第二次試験は、10月中旬に実施

- 詳しくは、東京海洋大学HP「常勤職員募集について(令和3年度採用試験)」にて。
<https://www.kaiyodai.ac.jp/company/recruitment/clericalstaff/fulltime/202107081611.html>